

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月23日（木）

2 確認箇所

- ・ 2号機使用済燃料プール（遠隔操作室）（図1）
- ・ 1／2号機超高压開閉所（図1）

3 確認項目

- （1） 2号機燃料取り出し作業の状況
- （2） 油の漏えい事案に係る対応状況

4 確認結果の概要

（1） 2号機燃料取り出し作業の状況

東京電力では、2号機使用済燃料プールに貯蔵されている615体の燃料について、令和10年度までの取り出し完了を目指している。令和8年6月2日から燃料取り出し作業が開始されており、7月17日までに21体の燃料の取り出しが完了している。

今回、新たに7体の燃料取り出し作業が開始されていることから、その作業状況について確認した。（前回確認：令和8年7月22日）

- ・ 遠隔操作室において、燃料棒7体を格納したキャスク（使用済燃料の輸送や貯蔵に使われる専用の容器）の使用済燃料プール外への搬出作業、キャスクの燃料取扱設備※¹への積載作業及び燃料取扱設備の燃料取り出し用構台※²への移動作業の3工程を確認した。（写真1）
- ・ いずれの作業においても、手順書に基づき作業員間で連携を図りながら、確実に作業が進められており、一連の作業において異常は認められなかった。

※¹ 燃料取扱設備：使用済燃料プールから燃料を取り出すための設備であり、走行台車、キャスクを吊り上げるためのクレーン、燃料を取り扱う燃料取扱機及びキャスクの蓋を吊り上げるジブクレーンで構成される設備

※² 燃料取り出し用構台：使用済燃料プールに保管されている燃料の取り出し作業を行うため、2号機原子炉建屋南側に隣接して設置された構造物

（2） 油の漏えい事案に係る対応状況

東京電力から本日、福島第一原子力発電所構内の1／2号機超高压開閉所※³に設置されたケーブルヘッド※⁴付近から油が漏えいしたとの連絡を受けたことから、今回、現場の状況を確認した。

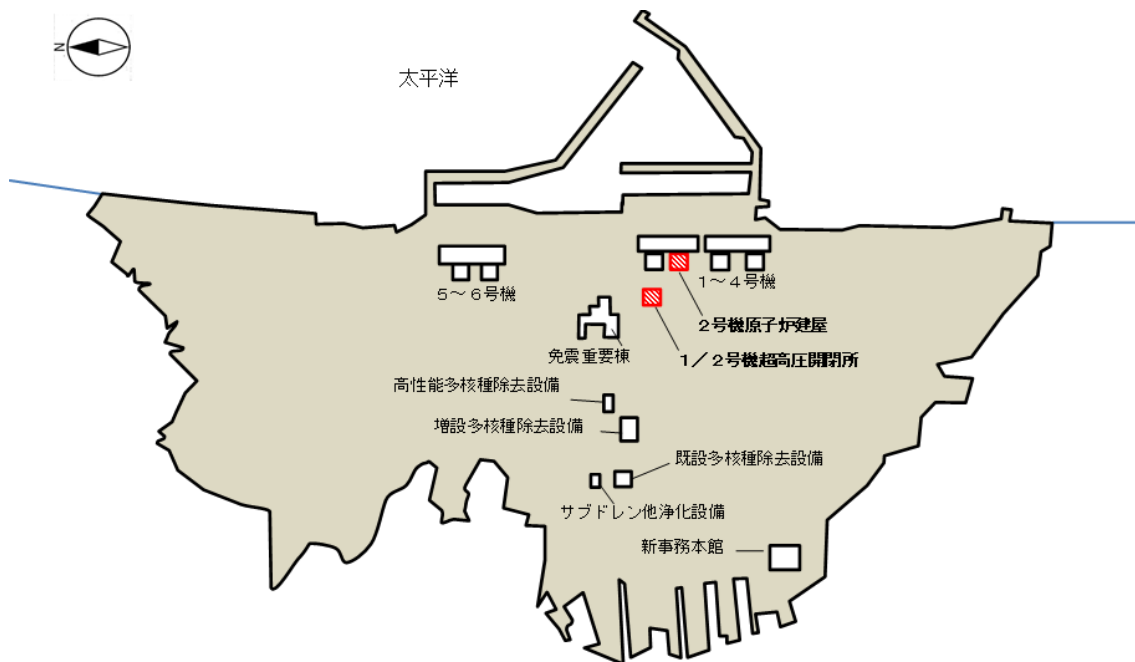
なお、東京電力によると、漏えいした油はPCBを含まない絶縁油であり、超高压開閉所から外部への漏えいは確認されていない。また、東京電力において、漏えい箇所の養生及び吸着マットの設置により拡大防止措置を実施

している。

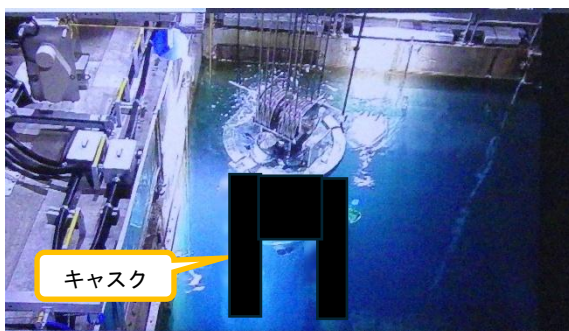
- ・当該事案の発生場所であるケーブルヘッドは、1 / 2 号機超高压開閉所の建屋内の入口から奥側に設置されている設備であった。
- ・現場確認時、油の漏えい箇所は養生されており、外部への漏えいなどの異常は認められなかった。(写真2)

※3 1 / 2 号機超高压開閉所：1・2号機で発電した電気を変電所などに送電する施設。現在は使用されていない。

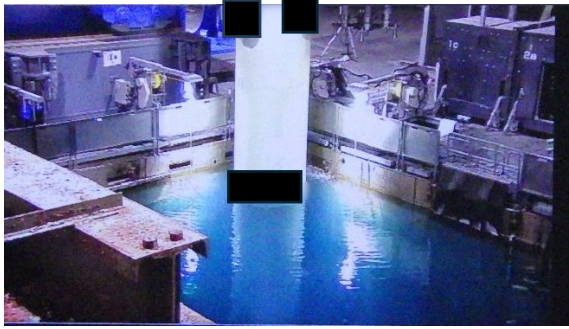
※4 ケーブルヘッド：1 / 2 号機超高压開閉所の機器と送電ケーブルを接続する部分。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) キャスクの使用済燃料プール外への搬出作業①



(写真 1－2) キャスクの使用済燃料
プール外への搬出作業②



(写真 2－1) 1・2号機超高圧開閉
所の建屋内の状況



(写真 2－2) 油の漏えいが確認され
たケーブルヘッドの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。